2024年12 月

株式会社アイリックコーポレーション

お客様の契約情報等の漏えいに関するお詫びと再発防止策について

株式会社アイリックコーポレーション(代表取締役社長：勝本竜二)は、2024 年 8 月 8 日、お客様の契約に関する情報が、第一生命保険株式会社（以下、第一生命）からの出向者により第一生命の子会社であるネオファースト生命保険株式会社（以下、ネオ社）に漏えいしていたことを発表し、その後、漏えい先であるネオ社において調査をすすめてまいりました。今般、事案についての調査が完了いたしましたので、その原因および再発防止策についてご報告いたします。

1. 事案概要

本事案は、第一生命の出向者が、弊社の了承を得ずにネオ社に対して実績シェア把握のために資料を送信していたものです。調査により判明した事実は以下のとおりです。なお、ネオ社からの報告によれば、現時点ではセンシティブ情報の漏えい・提供およびお客様情報の二次漏えい、二次利用は確認されていません。

2. 漏えい先

ネオファースト生命保険株式会社 （同社漏えい通知：https://info.neofirst.co.jp/news/assets/2408080001.pdf）

3. 漏えい情報

該当の情報は、保険クリニック直営店及び販売募集人の成績管理をおこなうためのデータでした。顧客管理をおこなうためのデータではございません。

漏えい情報：契約者・被保険者の氏名・生年月日、証券番号、保険種類、保険会社名等

※住所、電話番号、メールアドレスなどの連絡先情報は含まれておりません。

また、クレジットカード情報、銀行口座情報や保健医療情報等の機微情報も一切含まれておりません。

4. 情報を提供していた期間

2015 年 12 月～2024 年7月

5. 漏えいしたお客様情報の数

3 万 7 千名

6. 漏えいのあったお客様への対応

(1)お名前と住所が確認できたお客様

当社より、漏えい事実や漏えいの原因等を記載した書面を 11 月 29 日以降、郵送にて順次発送しております。

(2)ご連絡先が確認できなかったお客様

書面でのご案内ができないため、本公表をもって通知に代えさせていただきます。

7. 原因および再発防止策

本件においては、弊社におけるデータアクセス権限設定等に一部課題があったと認識しております。

また、出向者による情報取得が慣習化していたことやそのデータを受け取っているネオ社側も送信内容を正しく認識されていなかったことが要因です。出向元の第一生命と漏えい先のネオ社においては、情報取得にかかるルールの再徹底や、情報セキュリティリテラシーにかかる指導・教育不足等があげられております。

上記原因に照らし、以下の再発防止策を実施いたします。

(1)情報セキュリティ管理態勢の確認と強化

再発防止に向け、弊社における情報セキュリティ態勢への指導・教育を徹底し、情報セキュリティリテラシーを一層高めるよう強化します。

(2)第一生命およびネオ社へ再発防止の徹底を依頼

情報取得にかかるルールの再徹底や、情報セキュリティリテラシーにかかる指導・教育不足の改善を求めております。

＜本件に関するお問い合わせ＞

株式会社アイリックコーポレーション　お問い合わせ窓口

電話:03-5840-8161　(担当者:斉藤)　　受付時間:月曜～金曜 9:00～17:00(土日・祝日を除く)

E メール:info@irrc.co.jp

＜よくあるご質問＞

Q:自分や家族の情報は該当しているのか？

対象のお客さまには別途郵送にてご連絡させていただいております。郵送でのご連絡が届いているようでしたら対象となります。

Q:今回の漏えいの対象となっているのは、いつ頃の契約なのでしょうか？

2015 年 12 月～2024 年 7 月の期間においてご契約された履歴があるお客さまのデータが対象となっております。

Q:既に解約・失効しているのに通知文が届いた

2015 年 12 月～2024 年 7 月の期間においてご契約された履歴のため、解約・失効されている方も対象となっております。

Q:どこの保険会社の情報が該当しているのでしょうか？

次の委託元保険会社が対象となっております。

＜生命保険会社:27 社＞

アクサ生命保険株式会社、朝日生命保険相互会社、アフラック生命保険株式会社
イオン・アリアンツ生命保険株式会社、SBI 生命保険株式会社、エヌエヌ生命保険株式会社
FWD 生命保険株式会社、オリックス生命保険株式会社、ジブラルタ生命保険株式会社
住友生命保険相互会社、ソニー生命保険株式会社、SOMPO ひまわり生命保険株式会社
第一生命保険株式会社、第一フロンティア生命保険株式会社、チューリッヒ生命保険株式会社
T&D フィナンシャル生命保険株式会社、東京海上日動あんしん生命保険株式会社
なないろ生命保険株式会社、日本生命保険相互会社、はなさく生命保険株式会社
富国生命保険相互会社、マニュライフ生命保険株式会社、三井住友海上あいおい生命保険株式会社
三井住友海上プライマリー生命保険株式会社、明治安田生命保険相互会社
メットライフ生命保険株式会社、メディケア生命保険株式会社

＜損害保険会社:19 社＞

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、アイペット損害保険株式会社、アクサ損害保険株式会社
アメリカンホーム医療・損害保険株式会社、AIG 損害保険株式会社、SBI 損害保険株式会社
共栄火災海上保険株式会社、ジェイアイ傷害火災保険株式会社、セコム損害保険株式会社
ソニー損害保険株式会社、損害保険ジャパン株式会社、SOMPOダイレクト損害保険株式会社
Chubb 損害保険株式会社、チューリッヒ保険会社、東京海上日動火災保険株式会社
日新火災海上保険株式会社、三井住友海上火災保険株式会社、三井ダイレクト損害保険株式会社
楽天損害保険株式会社

＜少額短期保険会社:1 社＞

アイアル少額短期保険株式会社

Q:8 月 8 日の漏えい報告では 7 万2千名と報じられたのに、12 月 2 日の漏えい報告では 3 万 7 千名と減少しているのはなぜでしょうか？

個人情報として特定できなかった情報や同じ氏名を名寄せによって突合させたことなどにより、大幅に減少しております。

以上